

総合的な
学習の時間

第3学年

江田島市立鹿川小学校

指導者 松浦美咲

単
元
名

「自分タイム ～一人一人が探究者～」 たんきゅうしゃ

本単元で育成する資質・能力

主体性

日 時：令和4年2月9日（水）第6校時

研究主題

児童の探究的な学びが生まれる生活科・総合的な学習の時間の在り方
～「活用」を意識したカリキュラム・マネジメントを通して～

1 本校の総合的な学習の時間の目標（中学年）

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の教育資源を生かした総合的な学習を行うことを通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 知識及び技能	(2) 思考力, 判断力, 表現力等	(3) 学びに向かう力・人間性等
地域の教育資源を生かした探究型の学習の過程において、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、自分たちが住む地域の魅力を理解する。	地域社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ、目的に応じて表現する力を身に付ける。	地域の教育資源を生かした探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとする態度を養う。

2 能美中学校区（小中9年間）で育成したい資質・能力

	レベル1	レベル2	レベル3
やりきる力	好き嫌いせずに、決められたことをやりきる。	決められたこと以外でも、あきらめずにやりきる。	自分で決めた目標に向かって、粘り強く取り組む。
伝え合う力	【話すこと】 相手を見て話す。	【話すこと】 終わりまではっきりと話す。	【話すこと】 伝えたいことが分かるように、意見をまとめて話す。
	【聞くこと】 相手を見てだまって聞く。	【聞くこと】 うなずくなど、反応しながら聞く。	【聞くこと】 相手の言いたいことを考えながら聞く。
主体性	自分の「できたこと」「できなかったこと」が分かる。	「次にどうしたらよいか」を考えながら振り返る。	「新たな課題」を見付け、その解決に向けた見通しをもつ。

3 指導の方向性について

○単元観

本単元は、総合的な学習の時間を通して学んだ「探究のサイクル」を活用しながら、自分で興味関心を抱いた事柄について、見通しをもちながら探究的な学習を進める単元である。

「自分タイム」は、第3学年から第6学年までに共通して設定している新単元である。本単元を通して、「探究のサイクル」を回しながら学習する力を身に付けることができるとともに、身の回りの事象や事柄に興味・関心を向けることで、自分の生活を見つめ直すことができる単元である。

第3学年では、自分で課題を設定し課題を追究しまとめ表現する一連の探究のサイクルを行うことを目標とし進める。

○児童観（第3学年 12名）

【児童の実態】

本学級の児童は、1・2学期で「江田島の自慢」について調べたりまとめたりする学習を行った。インターネットで調べたのち、様々な場所に見学に行きインタビューを行うなど体験的な学習を多く行ってきた。また、調べたことを新聞や報告する文章などにまとめる活動も行い、まとめる力が少しずつ身に付いてきている。

しかし、全体で学習課題を設定し、それに向けて話し合いながら課題を解決する経験は積んできたが、児童それぞれが学習課題を立て、それに向けて探究してきた経験は少ない。また、ひとつの課題から様々な情報を収集し、整理する経験が未熟である。

【育成する資質・能力と関連する実態】

「主体性」…普段の学習でも定期的に自己の学びを振り返る時間を確保しているため、自分の学習状況を適切に振り返ることができる。しかし、新たな課題を見付けたり、自ら見通しをもって学習を進めたりすることができる児童は少なく、一定の児童の発言によって学習が進んでいる状況がある。

○指導観

【本単元における指導の方向性】

- 単元の初めでは、児童一人一人が調べていきたいことや、今興味があることを整理する時間を確保する。そこから、より探究していきたい学習課題を設定させる。探究するにあたって、どうしてその学習課題に設定したか理由をしっかりと考えさせ、探究するためにどのようなことを行っていけばよいかそれぞれ計画を立てさせる。また、伝える相手を明確にし、伝える方法をしっかりと考えさせ、個々の探究を行わせる。調べて終わりにするのではなく、自分なりの考えを必ず持たせ、自分の生活と結び付けたりどのように自分が関わったりしていくか考えてまとめさせる時間を確保する。
- 指導にあたっては、次のことを手立てとして指導を進めていく。
 - ①外部との連携を図る場合は、自分でアポイントメントを取り、体験的な活動が行えるようにする。
 - ②効果的にタブレットを活用することで、情報を整理したり自分の考えを表現したりすることができるようにする。
 - ③「主体性」を育成するために、学習計画を立てさせ、各自が毎時間、今日は何をめあてとして課題に取り組むか見通せるように、単元の初めに学習計画を立てさせる。
 - ④中間発表を行い、児童同士で今どこまで探究が進んでいるか発表し合うことで、自分の課題解決に向けて見直ししながら進めることができるようにする。

4 本単元に関する「本質的な問い」について

【本質的な問い】（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）
自分の生活をより良いものにするためにはどうするとよいか。



【単元を貫く問い】（単元を通して考え深めていく「問い」）
自分が探究している〇〇はどのようなものだろう。



【個別の問い】（授業内で身に付ける知識・技能等）
○自分が探究したいことは何か。なぜそれを探究していきたいか。
○探究したことを誰に伝え、どのような方法で伝えるとより伝わるか。
○どうすれば調べることができるか。
○どのように探究を進めていくか。

5 単元の目標

自分が設定した課題を探究することを通して、「探究のサイクル」を活用して課題について深く理解し、新たな気付きや学びを他者に表現するとともに、自らの学習を振り返ることで、自己の学習を調整できるようにする。

（１）知識及び技能	（２）思考力，判断力，表現力等	（３）学びに向かう力・人間性等
探究した課題について，新しい発見や気付きがある。 探究的な学びに必要な知識や技能を身に付けることができる。	自分が探究した課題に対する成果を，相手や目的に合わせてまとめ方を工夫し，表現することができる。	自己の学習を定期的に振り返り，学習を調整することができる。

6 単元のルーブリック

評価の観点	A 評価	B 評価	C 評価
知識・技能	①探究した課題について，新しい発見や気付きが複数ある。 ②探究のサイクルを理解し，繰り返し活用している。	①探究した課題について，新しい発見や気付きがある。 ②探究のサイクルを理解している。	①探究した課題についての発見や気付きがない。 ②探究のサイクルを理解していない。
思考・判断・表現	自分が探究した課題に対する成果を，相手や目的に合わせてまとめ方を工夫し，表現している。	自分が探究した課題に対する成果をまとめ，表現している。	自分が探究した課題に対する成果を，表現することができない。
主体的に学習に取り組む態度	自己の学習を定期的に振り返り，次時の学習の目標を立て，実践しようとしている。	自己の学習を定期的に振り返り，次時の学習の目標を立てようとしている。	学習を振り返ろうとしていない。

7 単元の計画（全 15 時間）

次	学習活動	知	思	主	評価方法
第一次 ③	学習の見通し① ○ 教師の「探究報告」を見て学習のゴールの見通しをもつ ○ 自分は今どのようなものに興味があるか整理する。 ○ どのようなものを探究するか、また探究したい理由を考える。			○	行動・発言 ワークシート ふりかえりシート
	課題の設定② ○ 探究テーマのマッピングを行う。 ○ 学習計画を立てる。 ○ 探究していくものを誰にどのような方法で伝えたいか考える。 ○ 探究するための方法を考える。	②			行動・発言 ワークシート
第二次 ⑦	情報の収集②（本時） ○ どのようなことを調べていけばよいか整理した上で情報を収集する。 ○ インターネットで調べる。 ○ 体験活動を行う場合は、アポイントの取り方を調べ、お願いの言葉やインタビューする内容を考える。	①			行動・発言 ワークシート
	情報の収集・分析① ○ 相手に伝えたい内容や伝えるべき内容を整理していく。	②			行動・発言 ワークシート
	表現・まとめ④ ○ 伝えたい相手によって、伝え方を変えることを考えた上で、それぞれの方法でまとめていく。		○		行動・発言 成果物
第三次 ⑤	表現① ○ 今どこまで自分が進んでいるか中間発表を行う。 ○ 友だちの発表を聞き、自分と比較して自分に足りないところを見つける。また、友だちのよいところを吸収し自分のまとめの改善策を考える。		○		行動・発言 成果物
	情報の整理・分析② ○ 自分の探究を見つめ直し、よりよいものに変えていく。 ○ 情報収集・まとめ方・分析の仕方等の見直しを再度行う。			○	行動・発言 成果物 ふりかえりシート
	表現・まとめ② ○ 自分が探究してきたことを発表する。 ○ 自分が探究してきたことの振り返りを行う。今年度の経験を生かして来年の自分タイムではどのようなことを行っていきたいか見通しを立てる。		○		行動・発言 成果物 ふりかえりシート

8 本時の展開（4／15 時間）

（1）本時の目標

自分が立てた探究計画をもとに、情報を収集し、探究するテーマについて見聞を広めることができる。（知識及び技能）

（2）学習展開

	(番号)児童の学習活動 ○発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点 ●評価
課題の設定	<p>1 本時の学習課題を各自確認する。 ○今日の自分のめあてを決めましょう。 ・〇〇についてインターネットで調べる。 ・調べながらメモする。 ・少しずつまとめていく。 ○ペアで決めためあてについて発表し合いましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が立てた探究計画を見て、今日することを確認し、自分のめあてを立てさせる。 ・今日の振り返りでどこまで進めることができたかを振り返ることを伝えておく。
情報の収集／整理・分析／表現・まとめ	<p>2 各自の探究を進める。 ○自分のめあてを達成できるよう、学習を進めましょう。 ・インターネットで調べた内容をメモしよう。 ・図鑑もインターネットも使いたいから広い場所がいいな。ワークスペースでやろう。 ・同じ魚について調べているから一緒に調べていこう。 ・図鑑にしていきたいから調べたことを画用紙に一つずつまとめていこう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器・図書の本を事前に準備させ、いつでも参照できる場を用意しておく。 ・学習が進んでいない児童は、同様のテーマを設定している児童同士で交流を行わせる。誰とも同じテーマでない児童については、教師が積極的に声掛けを行う。 ・情報収集して終わりにならないように、メモ用紙を準備しておく。 ・情報を収集しながらまとめたい児童がいる場合もあるため、画用紙や新聞を準備しておく。 ・自分で学習場所を決めさせて行わせる。（教室・床・ワークスペース） <p>●自分が立てた探究計画をもとに、情報を収集し、探究するテーマについて見聞を広めることができている。（知識・技能） 【ワークシート・発言】</p>
振り返り	<p>3 学習の振り返りと次時の学習へ見通しをもつ。 ○今日の学習を振り返って、次の時間の課題を決めましょう。 ・インターネットを使って〇〇について調べることができた。 ・次までに自主勉強で〇〇について調べる。 ・次はインターネットで調べてみよう。 ・インタビューしていいか連絡するための準備をしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間行っている振り返りシートに記入させ、次時のめあてを考えさせる。 ・学校だけでなく自主学習として取り組む方法もあることを伝え、いつでもメモが取れるように自主学習用のメモ用紙を教室においておく。

(3) 板書計画および配付資料等

2/9

自分タイム ～一人一人が探究者～

児童のテーマを掲示

<今日すること>

情報収集

- ・インターネット
- ・図鑑

表現・まとめ

ネームカードを貼る

<ふりかえり>

1 今日できたこと。

<例>

- ・インターネットを使って○
- について調べ、△△が分かった。

2 次の時間にすること。

- ・○○ができなかった出の次は・・・したい。